



あいあい
愛逢

第
26
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 長谷川 達雄

発行日 2009年6月27日

ホームホスピス「愛逢の家」

9月開所(予定)にむけ準備すすむ



「愛逢の家」の前に置かれた看板

病院では早期退院を迫られ、家では介護が困難、施設は何百人待ち状況…。

このような時、私たちは一体どこで最期を迎えたらよいのでしょうか。

愛逢は、住みなれた自分の家とは違うけれども、もう一つの自分の家として「愛逢の家」をつくりたいという夢を暖めてきました。

「愛逢の家」の詳しい内容をお知りになりたい方は、パンフレットを準備しておりますので、愛逢事務所までお気軽にお問い合わせ下さい。

夢が実現へ

その夢が、3月には東園田9丁目に素敵な家をお借りすることができました。先駆的な事業ということで日本財団も改修工事を応援してくれることが決まりました。いよいよ9月オープン(予定)を目指して開所準備を本格化させることになりました。

350万円目標の寄付にご協力を

「愛逢の家」は、大切だけど制度にない事業です。そこで私達は会員の皆様、地域の皆様に寄付へのご協力をお願いすることにしました。

7月1日から9月オープン(予定)までの2ヶ月間で350万円を目標に取り組みます。一口1,000円です。「愛逢の家」の主旨に賛同の上、ご協力の程よろしくご協力をお願い申し上げます。

また、日常生活品などのご協力もお願いします。

お問い合わせは、愛逢事務所まで

☎06-6493-1424



《アクセス》〒661-0953 尼崎市東園田町9-40-4

・阪急神戸線 園田駅下車徒歩5分

・JR尼崎下車尼崎市バス11番阪急園田駅「阪急園田」下車徒歩5分

第6回総会が開催されました

5月23日（土）午後6時から小中島福祉会館で、NPO法人愛逢の第6回総会が開催されました。あいさつに立った坂本敬子理事長は、「経営的には厳しい一年であったが、この間暖めてきた『看取りの家』構想を開設に向けて本格的な準備を開始する」ことを力強く訴えました。

議案は、第1号議案から第5号議案まで熱心に審議され、全員異議なく承認されました。第6号議案で理事11名と監事2名の新役員が推薦され承認されました。

愛逢をこの地域になくしてはならないものに
理事長 長谷川 達雄



新しく理事長に就任しました。1947年生まれの62歳です。組織の若返りを図ると言う面からは、少々効果が薄いかもしれませんが、どこまでやれるのか不安はあるものの新規事業の「愛逢の家」がスタートし、軌道に乗せ、次世代に引き継ぐことができれば、私の役目は果たされるのかなと思っています。

いずれにせよ、皆さんに、この地域に「愛逢」がなくしてはならないもの—「愛逢」にいけばなんとかなる、なんとかしてくれるもの—としてあり続けたいという思いを大事に、これからも事業と活動を続けていくつもりでいます。さらにまた、一人暮らしになったとしても「孤独」を感じなくて済むようなまちづくりを皆さんと一緒に考えていければと思っています。どうか皆さんのご支援、ご協力をお願いします。



総会で選任された理事・監事のみなさん

新理事のあいさつ

この度は、理事として皆さまと一緒に活動させて頂く事になりました町田宏美と申します。普段は、阪神医療生協で働きながら子育てと社会福祉を専攻する学生としての日々を送っています。愛逢で、一人ひとりの会員さんと地域の中で何が出来るか考えながら実践していきたいと思っています。理事としての責任を自覚しながらも、少しでもお力になれるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

<町田 宏美>

はじめまして、岡本双美子と申します。ホスピス病棟や訪問看護ステーションで働いた経験から、在宅でその人らしく過せる地域・組織作りの必要性を痛感しています。今回、「愛逢」の理事として関わらせていただくことになり、大変光栄に思っております。皆様にご指導いただきながら、頑張ってまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<岡本 双美子>

はじめまして、岩本と申します。私は、某社協のボランティアセンターで長年勤務してきましたが、一昨年、縁があつて関西学院大学の大学院で学ぶことになり、終了後は社協を退職し、今年の4月から同大学の「実践教育支援室」で、日々学生と向き合う毎日を送っています。

これからは様々な形で、みなさんとともにこの活動をより良いものにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<岩本 裕子>

5年間のご支援に感謝！

法人設立以来5年間、初代理事長という重責を無事果たすことができましたのは、会員さんをはじめ支援してくださる地域の皆さん、市内外のNPO法人の諸先輩のご支援のお陰と、心より感謝しています。ありがとうございました。

阪神医療生協くらしの助け合い「愛逢くらぶ」10年間の活動を経て、2004年に法人を立ち上げた私たちは、事業経営に関しては、全くの素人集団でした。設立から2～3年は、ただがむしゃらに突き進むより他に術を知りませんでした。5年の歳月を経て、ようやく法人と

しての機能や基盤が整ってきました。

「愛逢」は、今年度ホームホスピス「愛逢の家」の新事業に挑戦してまいります。私も今しばらく理事として、新事業「愛逢の家」を皆さまと共に育てて行きたいと思っています。今後ともご指導、ご支援よろしくお願いいたします。



<坂本 敬子>

♪♪ミニデイ♪♪

今回のミニデイは、「愛逢の家」で6月1日に行われました。参加人数は20名の多数で会場は席が足りない程でした。その日は、ミニデイの思い出話に歌、ビールも少し入ったのでダンスもあり雰囲気は、絶好調でした。

2005年6月に再スタートし、毎月2回定期的に持たれるようになり、外出も年2～3回実施されました。その間、会場の引越が2回あり、今回さらに現在使用していた会場が継続できなくなり、残念ではありますがミニデイは6月

をもって一旦、休止することになりました。紙面を借りてご報告申し上げます。長年にわたり多種多様にミニデイを支えてくださったボランティアの皆様にご心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後も利用者さんとボランティアさんのつながりを大切にしていきたいと思っております。又、外出等の予定が決まりましたら、ご報告致しますので是非ともご参加下さい。



ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

ニュース新メンバー紹介

この度、愛逢ニュースの編集に携わることになりました。曾場勝司です、旺盛な好奇心と軽快なフットワークを活かし、皆さんに一つでも多くの「お役立ち情報」を提供していきたいと考えております。どうぞよろしくお祈りします。〈曾場勝司〉

ホ ッ ト 待 夢



このたびニュースの編集をお手伝いすることになりました「サクラ」です。

思えば、10数年前、のちのNPO法人愛逢になる阪神医療生協のくらしの助け合い、有償ボランティアグループの設立総会が開催され、その名称「愛逢くらぶ」として活動を始めたのがつい最近のように思い出されます。

当時は、介護保険など思いも及ばず、有償ボランティアだって賛否両論あった程だと記憶しています。しかし、高齢者のお宅に高齢者のボランティアが訪問し、お話しボランティア、買物、掃除など、かかわる人たちみんなが生き活きとしていたことなど、まさにボランティアの登竜門としての役割を果たしてきたのではないのでしょうか。

さて、私も人に遅れをとることなく、介護保険一号被保険者として、ピンクの保険証を保持する年齢になりました。残念ながら、すぐに使える訳ではありませんので、今は少しでも人の役に立てることができなければと考えています。出しゃばらず、やりすぎず、ボチボチと「人は人の役に立ちたい」を人の常として。これからもよろしくお祈りします。〈愛逢の新人サクラ〉



寄付金をいただきました

(敬称略)

(期間：2008年：12月19日～2009年6月5日)

松岡 さとゑ 丸橋 操 井村 一枝 小林 廣子 桑畑 正英 長谷川陽子 増尾 幸子
志貴 亘子 西川 英樹 佐々木 洋子 永田 エイ子 河合 恵子 鹿山 初子 長野
兼行 栄子 巽 エチ子 富松 英二 坂本 敬子 石井 淑子 橋平 浩子 中村 大蔵
長谷川 達雄 米田 昌子 香川 末子 小西 加保留

ミニデイ参加者

映画「ふるさとをください」尼崎上映実行委員会 まちづくり交流大会*匿名希望7人
の方々に当会の趣旨にご賛同して頂き、ご協力頂きましたところを厚くお礼申し上げます。

